

## 使用上の注意（家具一般）

この度は本製品をお求め頂き誠にありがとうございます。  
安全にご使用いただくため、この「使用上の注意」をよく読み正しくお使い下さい。  
又、これらを保管し必要なときにお読み下さい。

### テーブル

- ・ テーブルの上にとったり、飛び跳ねたり腰掛けしないで下さい。また、踏み台かわりに使用しないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・ テーブルを横にしたり、立てかけたりしないで下さい。けがや破損の恐れがあります。
- ・ テーブルに物をのせるときはバランスよく置き端の方から一箇所に集中してのせないで下さい。転倒し、けがや破損の恐れがあります。
- ・ テーブルの端に極端な力をかけないで下さい。転倒し、けがや破損の恐れがあります。
- ・ 脚、ネジ、金具類は、ときどき緩みやぐらつきがないか点検してください。けがや破損の恐れがあります。
- ・ 移動するときは床面をひきずらないでください。必ず大人二人以上で持ち上げて運んでください。けがや床面のキズの防止になります。
- ・ 物をのせたままの移動はしないでください。落下や物の破損、けがの恐れがあります。
- ・ 製品には手をついたり、寄りかからないで下さい。けがや破損の恐れがあります。
- ・ 陶磁器の底でこすったり、やかん、なべ、コーヒーカップ、茶碗等の熱いものを直接置かないで下さい。変色やキズの原因になります。
- ・ コーヒーや醤油等をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。変色や変形の原因になります。
- ・ ビニールやガラスを長時間上にのせて使用しないで下さい。カビ、変色、変形等の原因になります。
- ・ 引き出しや棚等に引火性の強い薬品や、ベンジン、接着剤等はいれないで下さい。火災や悪臭の原因になります。
- ・ 家電製品等を収納するときは、十分なすきまをとってください。発熱による故障や火災の恐れがあります。
- ・ テーブルトップの角に、体や物等ぶつけないように十分注意してください。けがや破損の恐れがあります。
- ・ 製品には強い衝撃を与えないで下さい。けがや破損の恐れがあります。
- ・ 塗料や接着剤等に含まれる成分が稀に、肌の弱いひとなどにアレルギー症状を起こす場合があります。

### チェア

- ・ 座る目的以外では、使用しないでください。～転倒し、ケガや破損の恐れが有ります。
- ・ 椅子の上にとったり飛び跳ねたり、踏み台代わりに使ったり肘部や背もたれの上に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒、ケガや商品の破損・変形の恐れが有ります。
- ・ 商品にぶら下がったり、無理な力で引っばったり、強い衝撃を与えないで下さい～ケガや破損の恐れが有ります。。
- ・ 座った状態で、椅子を傾けないで下さい。～転倒し、ケガや破損の恐れが有ります。
- ・ 床面の平らな場所に水平に置いて下さい。～転倒や、商品の破損変形の恐れが有ります。
- ・ 直射日光が当たる場所・温度の高い場所・暖房器具の近辺で温度が高温になる場所では使用しないで下さい。  
又、壁面・設置物との間は出来るだけ離して、風通しのよい場所に置いて下さい。  
商品の変色・変形・火災・カビ・ダニ発生の原因になります。
- ・ 椅子に物を乗せないで下さい、椅子が転倒したり、物が落ちてケガや、床面等に傷等が付く恐れが有ります。
- ・ 脚部、ネジに緩みや破損がないか定期的に点検して下さい、放置してのご使用はケガや破損の恐れが有ります。
- ・ 椅子を移動する時は、引きずらずしっかりと持ちあげて下さい、ケガや床面にキズが付く恐れが有ります。
- ・ 幼児一人では、使用させないで下さい、転倒や落下して、ケガや破損の恐れが有ります。
- ・ 椅子を濡らし状態、また素肌で座らないで下さい、椅子の汚れカビの原因になる恐れが有ります。
- ・ 椅子を汚した場合及び濡らした場合は、裏面（お手入れ方法）に従って行って下さい。
- ・ ドライヤー、温風ヒーター、ストーブなど暖房器具類での乾燥は絶対にしないで下さい。  
商品の変色・変形・火災の発生の恐れが有ります。

## 設置上のご注意

- ・ 床面の平らな場所に水平になるように設置してください。転倒や破損の原因になります。
- ・ 床面が、畳・フローリング・クッションフロア等の場合は敷物を敷いてご使用下さい床面へのキズ防止になります。
- ・ クッションフロアの上で使用する場合は敷物を敷いてください。脚が木製の場合、塗料と床面が反応して、汚れの原因になります。
- ・ フローリングや畳のうえで使用する場合は敷物を敷いてください。床面のキズの防止になります。
- ・ 直射日光のあたるところや暖房器具のそばなど温度の高いところでは使用しないでください。変色、変質の原因になります。
- ・ 風通しのよいところで使用してください。カビやダニの原因になります。
- ・ 温度差の激しいところ乾燥の激しいところで使用しないでください。変質、変形の原因になります。
- ・ 湿度の高いところや屋外では使用しないでください。カビやダニ、変質の原因になります。

## お手入れ方法

### ■木部

- ・ 日ごろお手入れは柔らかい布で軽くふき取り汚した時は中性洗剤をぬるま湯で薄めて(3パーセント位)柔らかい布に浸し、布の表面を軽くたたいて拭き取り、自然乾燥させて下さい。その後水で浸した布で拭き取り自然乾燥させてください。(シンナー、ベンジン等)は、絶対に使用しないで下さい。

### ■プラスチック・金属部

- ・ 日ごろのお手入れは柔らかいぬので軽く拭き取り汚したときは中性洗剤をぬるま湯で薄めて(3パーセント位)柔らかい布に浸し、布の表面を軽くたたいて拭き取り、自然乾燥させてください。その後水で浸した布で拭き取り、自然乾燥させてください。
- ・ 金属部には、その後潤滑油を塗り柔らかい布で拭き取ってください。

### ■布張り部

- ・ コーヒー等で汚した時は、中性洗剤をぬるま湯で薄めて(3パーセント位)柔らかい布に浸し、布の表面を軽くたたいて拭き取って下さい。その後、水で浸した布で拭き取り、自然乾燥させて下さい。

### ■革張り部

- ・ 日頃のお手入れは、柔らかい布で軽く拭き取り、定期的に市販の革張用クリーナーで磨いて乾燥後、ウール地ににて拭き取って下さい。自動車用用品、靴用クリーム等多目的クリーム・溶剤は絶対に使わないでください。

### ■長期保管場所について

- ・ 湿気の少ない場所で保管してください。湿気は、カビ、ダニ等の発生やしみの原因になります。

### ■虫害について

- ・ 虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

**GEORGE'S**